

折に触れ 四字熟語

NO. 243 『門前雀羅』 もんぜん じゃくら

< 意味 > 門の前に網を張って雀を捕まえることができるほど訪問者もなく、人の往来もない寂れたさま。

< 出典 > 『史記』^{きゅうあんていとうじでん}汲黯鄭當時伝・賛

表 言 : 門前雀羅の状態

用 例 : 其れに最^そう内^もが台なしですからね、私が一週間も居なかった日にや、門前雀羅を張るんだわ。< 泉鏡花・婦系図 >

語 釈 : 「雀羅」は雀を捕まえるときに使う^{かすみあみ}霞網のこと。「羅」は「網」に同じ。

一 言 : 去年の暮れから、ようやく街に活気が甦り人があふれているのを見ながら、コロナ感染が始まってからの、ここ3年間の人がいなくて閑散としていた繁華街、観光地の状況を思い出してこの熟語をひもときました。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」